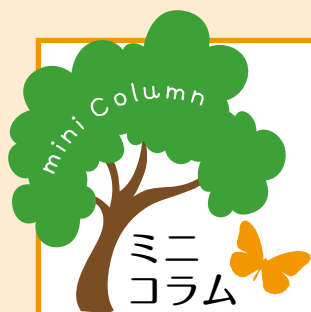




動物による種子散布

盛岡森林管理署 森林技術指導官 松尾 亨

動物による種子散布は、植物が繁栄するうえで重要な仕組みです。写真はツキノワグマの糞ですが、3種類の食べ物の違いにより色がそれぞれで、果肉は消化されても種子は健在、意外にもフルーティな香りのウンコでした。食べ頃の果実を与え動物に散布させる「木の実」を、ヒントと写真を頼りに、クイズにチャレンジしてみましょう。①つる性で樹木に巻き上がり、冬の森に鮮やかな黄色と赤の種子のコントラストがいい感じです。ヤマドリ的大好物、生け花にも使われます。②ニシキギ科で実は5裂します。長い柄がついてぶら下がることが由来。③ミカン科で嚙ると確かに柑橘系の味、樹皮は胃薬として利用されます。④名の由来は元気が出る木の実で「旅行」に関係あり、

猫も大好物で、テンなど動物散布。⑤バラ科で白い5弁の花をつけ、材質が固いことから道具の柄に使われたことが由来。葉に鋸歯があり基部はくさび形。

苦さが瓜(売り)のゴーヤも秋までほっておくと甘く熟します。植物は次世代に種をつなぐために未熟なうちは、苦みや渋みで食べられない工夫をし、ここ一番に色、匂い、形でアピールし甘く誘うのでしょうか！熱帯林ではサルの散布が有名ですが、日本ではタヌキやテン、野鳥が仕事しています。最近では人間の散布はほぼなしと思いきや、新植したカラマツの造林地に見事なトマトが稔っていたことがあります。・・・散布者は「林業マン」ですよ☆



カラフルなツキノワグマの糞 赤はズミ、緑はサルナシ、黒はドングリにブドウかな？



Q①



Q②



Q③



Q④



Q⑤

答えは最後のページに記載